

こどものための やさしい日本語 にほんご

ぼうさいはんどぶっく
防災ハンドブック



わかやまだいがく
和歌山大学

がいこく こ 外国につながる子どもへの支援プロジェクト しえんぶろじえくと



国立大学法人
和歌山大学

はじめに

日本は 災害が とても 多いです。

和歌山では、毎年 大雨や台風が 起きて 被害が 出ています。

また、これから 大きな 地震が 来るかも かもしれません。

この ハンドブックを 読んで おいて ください。



① 日ごろから 近所の 避難所（逃げるところ）と 逃げ道を

確認して おいて ください

② 慌てないで、落ち着いて 逃げて ください

③ 近くの 人と 協力して 行動して ください

ひ
日ごろの
そな
備え

ひなんじよ に せいかつ
避難所（逃げる ところ）での 生活や、

ていでん でんき と
停電（電気が 止まること）や

だんすい みず と そな
断水（水が 止まること）に 備えて、

ようい
用意して ください



ひつよう りすと
必要なものリスト

た もの みず た
1: 食べ物 水 すぐ食べられるもの

たいせつ みぶんしょうめいしよ ほけんしょう ざいりゅうかーど
2: 大切なもの 身分証明書（保険証、在留カード）

くすり ぎんこうつうちよう いんかん かね
薬 銀行通帳 印鑑 お金

みつ かぶん みず た もの
3日分の 水と 食べ物



き くつ くつした したぎ うわぎ
3: 着るもの 靴 靴下 下着 上着

にちようひん かいちゆうでんとう けいたいでんわ じゅうでんき かんてんち
4: 日用品 懐中電灯 携帯電話 充電器 乾電池

ますく ぐんて たおる びにーるぶくろ
マスク 軍手 タオル ビニール袋

ていっしゅ ぺん めも せいりようひん
ティッシュ ペン メモ 生理用品

地震



地震

そと 外での きけん 危険なもの

①



へい 塀

②



じ どうはんばいき 自動販売機

③



た さ 垂れ下がった でんせん 電線

地震が起きたとき

■ 倒れてくるものや、上から落ちてくるものに気をつけてください

■ テーブルや机の下に入って、頭と体を守ってください

■ 揺れが止まったら、ドアを開けてください

■ 火やガスを消してください

に 逃げる とき

■ 大切な物だけを持って、歩いて逃げてください

■ エレベーターは使わないで、階段を使ってください

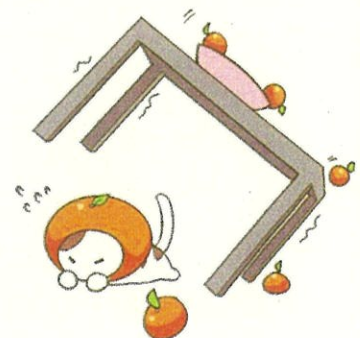
■ 大きい地震の後は、津波（とても高い波）が来るかもしれません

すぐに海や川から離れて、高い所に逃げてください

大きい地震の後は

余震（大きい地震の後に起こる地震）が

来るかもしれません





台風が近づいて来た時

■ ニュース・インターネットを見て ください

■ ガラスの破片が飛ばないように、カーテンを閉めて、窓にテープを貼って ください

■ 強い風で飛ばされそうなものを、家の中に片付けて ください

■ 危険な時は、早めに避難所（逃げるところ）に逃げて ください

雨がたくさん降ると、

① 山や崖が、崩れることがあります



② 川の水が増えて、溢れることがあります



日ごろから、自分のまわりの

危険な場所を、調べておいて ください

家の中に水が入ってきたら、

高いところに逃げて ください





かじ お とき
火事が起きた時

■「^{かじ}火事だ！」と ^{おお}大きな ^{こえ}声で ^い言って、

^{ちか}近くの ^{ひと}人に ^{おし}教えます

■^{かさいほうちき}火災報知機の ^{ボタン}を押して ^おください

■¹¹⁹に ^{でんわ}電話を ^{しま}す

■^{しょうかき}消火器を ^{つか}使って、^ひ火を ^け消して ^{くだ}さい

かさいほうちき
火災報知機



かじ み
火事を見つけたら

ボタンを押します

119番のかけかた

かじ とき しょうぼうしょ でんわ
★火事の時、消防署へ電話します

①「(〇〇：場所)で火事です」

②「〇〇が燃えています」

③「^{わたし}私 ^{なまえ}の名前は〇〇です」

④「^{でんわばんごう}電話番号は〇〇です」

たげんごつうやく さーびす
★多言語通訳のサービスもあります

★^{ひと}けがをした ^{きゅうきゅうしゃ}人を、^{びょういん}救急車で ^{びょういん}病院に

^つ連れて ^い行く ^{とき}時も、^{ばん}119番に ^{でんわ}電話 ^{しま}す



しょうかき　つか　かた
消火器の　使い方



- ① **ピンを　抜く**
- ② **ホースの　先を　火の　下に　向ける**
- ③ **レバーを　強く　握る**

しょうかき　ひ　ちい　とき　つか
※消火器は　火が小さい時だけ　使います

ひ　つよ
火が　強すぎるとき

てんじょう　ひ
天井に　火が　ついているとき

すぐ　外に　逃げて　ください

けむり　に　とき
煙から　逃げる　時



しせい　ひく
■姿勢を　低くしてください

ぬ　ぬの　たおる　はんかち　くち　はな　おお
■濡れた　布（タオル・ハンカチ）で　口や　鼻を　覆ってください

え　れ　べ　ー　た　ー　つか　かいだん　つか
■エレベーターは　使わないで、階段を　使ってください

ちず
地図

ひなんじょ に に みち しら
■避難所（逃げる場所）と 逃げ道を 調べて、
か
書いて ください

じょうほう
情報の

あつ
集めかた

きしょうちょう ほーむぺーじ たげんご
■気象庁のホームページ（多言語）

たげんご じょうほう
多言語での 情報があります

<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>



いっばんざいだんほうじん じちたいこくさいかきょうかい くれあ ほーむぺーじ
■一般財団法人 自治体国際化協会（クリア）のホームページ

たげんご せいかつじょうほう たげんご きんきゅう さいがいじょうほう
多言語生活情報（多言語での 緊急・災害情報があります）

<http://www.clair.or.jp/tagengo/>



ほうさい
■あがら防災

わ かやまだいがく ほうさいかんれんぶろじえくと さくせい ほーむぺーじ
（和歌山大学の 防災関連プロジェクトで 作成した ホームページ）

わ かやまけんない ひなんばしょ じょうほう
「和歌山県内の 避難場所」などの 情報があります

<http://agara-bousai.jp/>



おお さいがい お でんわ つな
大きな災害が起こると、電話が繋がりにくいです。

さいがいようでんごんばん さいがいようでんごん だ い や る つか
災害用伝言板 (web171) や 災害用伝言ダイヤル (171) を 使うと

さいがい ひと め っ せ ー じ のこ
災害に あった人が メッセージを残して、

かぞく ともだち め っ せ ー じ き
家族や 友達が そのメッセージを 聞くことができます。

ひがしにほん にしにほん さーびす
(NTT東日本・西日本のサービスです)

さいがいようでんごんばん いんたーねっと
■災害用伝言板 (web171) 【インターネット】

にほんご えいご かんこくご ちゅうごくご
※日本語・英語・韓国語・中国語

ぶんしょう め っ せ ー じ のこ
文章で メッセージを残します

<https://www.web171.jp/web171app/topRedirect/>



さいがいようでんごん だ い や る つか かた でんわ
■災害用伝言ダイヤル (171) の 使い方 【電話】

じぶん め っ せ ー じ のこ 自分が メッセージを残す	め っ せ ー じ き メッセージを 聞く
① 「171」に <small>でんわ</small> 電話する	① 「171」に <small>でんわ</small> 電話する
② 「1」を <small>お</small> 押す	② 「2」を <small>お</small> 押す
③ じぶん でんわばんごう お 自分の 電話番号を 押す	③ あいて でんわばんごう お 相手の 電話番号を 押す
×××-××××-××××	×××-××××-××××
④ 「1#」を <small>お</small> 押す (メッセージを <small>のこ</small> 残す)	④ 「1#」を <small>お</small> 押す (メッセージを <small>き</small> 聞く)
⑤ 「9#」を <small>お</small> 押して <small>お</small> 終わる	

こどものためのやさしい日本語防災ハンドブック

■企画・執筆・編集・発行

和歌山大学 外国につながる子どもへの支援プロジェクト

長友文子 和歌山大学国際連携部門 教授

松下恵子 和歌山大学国際連携部門 特任助教

野村美雪 和歌山大学紀伊半島価値共創基幹 研究支援員

宮田果奈 和歌山大学観光学部 2回生

池内響弥 和歌山大学教育学部 2回生

姜楽宇 和歌山大学教育学部 研究生

Natasya Wanda Aryand 和歌山大学日本語・日本文化研修留学生

■わだにゃんイラスト担当

Natasya Wanda Aryand 和歌山大学日本語・日本文化研修留学生

■協力

宮定章 和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター 特任准教授

南出考 和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター 価値共創研究員

■発行日

2021年2月1日

■印刷製本

麦の郷印刷

外国につながる子どもへの支援プロジェクトは、和歌山大学紀伊半島価値共創基幹（Kii-Plus）の社会実装教育研究プロジェクトの一環であり、令和2年度地域活性化推進研究プロジェクトにも採択されています。

このハンドブックは、令和2年度地域活性化推進研究プロジェクトの成果物として発行するものです。

